

上海市松江区の農村の謎

馬場英子

中国の謎は豊富で、各地の謎を集めた本のほか、『謎史』（銭南揚、一九二八年）などの研究書もあり、膨大な資料があります。

ここでは、上海市中心部から車で一時間弱の、松江の農村で二〇〇〇年夏に聞いた謎を中心に、現在も暮らしの中に生きる謎の一端を紹介します。

中国の「なぞなぞ集」ではよく、物を当てる謎と字の謎が半々の構成になっていますが、松江の農村で聞いたところでは、字の謎は男の人からしか出てきませんでした。高齢の女性には字を知らない人もまだいることを考えると当然の結果ともいえますが、逆に、台所の道具、糸紡ぎ、機織り、野菜など普段の暮らしを反映した物の謎については、女性のほうがずっとたくさん知っていて、身の回りのものすべてについて「なぞなぞ」があるのではないかと思うほどでした。

謎の形式としては、一つの物を当てる謎と、組になった物を当てる謎があります。また韻文形式になっていて、歌えるものもあります。なお、ここに挙げた謎のほとんどは、『滬諺外編』（胡祖徳、一九二三年、上海地区の諺、民謡、謎などを集める）、『中国謎語大全』（王仿編 上海文藝出版社、一九八三年）などにも見え、江南地域では広く知られた謎のようです。参考までに（ ）の中に中国語原文を載せました。



①「一本足の蟹（独脚蟹）」答えは芽の出たソラマメ。

②「赤い嘴、緑のインコ（紅嘴緑鸚哥）」答えはハウレンソウ。

③「赤いズボンに緑の帯 この謎解けないのは泥棒猫（紅褲子緑腰 猜不着做個賊猫）」
答えは唐辛子。ハウレンソウの謎と同じく、その姿と色からの連想。

この二つの謎は特に広く知られているようです。二句目は、謎につける常套句です。こ

ここでは一句目の「腰」と韻を踏むように「猫」で終わる句が選ばれています。韻に合わせて「肚子疼」（腹痛おこす）「做只狗」（イヌになる）などの言い方もあります。

④「蛇 壁を這う（一条蛇 壁上爬）」答えは棒秤。

たいていどの農家でも、壁に斜めに掛けられているので、ぐるりと部屋を見回せば答えが見つかる、そんな謎です。

⑤「下ではシーソー 上ではオウムが鳴く（下頭踏長蹺 上頭鸚鵡叫）」機織り。

今は織り機を見かけることもなくなりましたが、以前は女の重要な仕事で、機織りに関する謎はたくさんあります。

⑥「フナー匹 頭が二つ 紗^しさん家の小川をすいすい泳ぐ（一個鯽魚 兩個頭 紗家浜裏 游来游去）」機織りの梭。

経糸の間を動く様子をとらえています。

⑦「二十五羽のヒヨコがピーピー鳴く 一羽死んだらもう鳴かない（二十五只小鷄呱呱叫 死掉一只就不叫）」答えは「経車」、織り機の経糸を張る部分です。

⑧「一匹のハツカネズミ しっぽを引っ張ってチュウチュウ鳴く（一只白老鼠 拉住尾巴 哇哇吱）」答えは糸紡ぎ。

糸を紡ぐことも布を織ることも、日常生活からは消えた今では、高齢のおばあさんたちにしか伝承されない謎です。これらの謎を、村の五〇代の女性は一つも知りませんでした。

⑨「若造ひとり あばたと二人 けんかして 頭突き（一個小後生 和麻子兩個吵打碰）」答えは針と指貫。

⑩「昼間は肩を組み腰を抱く 夜は別れ別れの夫婦（日裏鉤肩搭背 夜裏拆散夫妻）」答えは、中国の組みひものボタン。

⑪「十人の坊主が袋の口を広げれば 五人の坊主が入ってしゃがむ（十個和尚張叉袋 五個和尚蹲裏去）」答えは、靴下を履く、です。

⑫「上には傘 下は巢いっぱい卵（上面一頂傘 下面一窩蛋）」答えはサトイモ。

「あばたのちびさん 赤いカーテン 中には色白おでぶさん（一個小麻子 一条紅帳子 裏面有個白胖子）」答えはピーナッツ。

中国では、広く各地で栽培されています。

⑬「裸で行って 服を着て帰ってくる この商売なら損しない（赤膊去 穿衣服回来 這場生意不喫虧）」答えは枝豆。

夏、田んぼのあぜ道を歩いていた時に、ちょうど食べごろの枝豆が目に入って、出てき

た謎です。

⑭「母さんぼさぼさ頭 父さんぼさぼさ頭 生れた坊やはとんがり頭 (娘蓬頭 爹蓬頭 生出兒子尖頭)」答えはタケノコ。

⑮「曹^{せう}さん家のやぐら ぐるぐる回り お嬢さんが門から出てくる 扇子で顔を隠して (穹穹兜兜 曹家牌楼 小姐出門 扇子遮頭)」答えはタニシ。

一・二・四句で韻を踏む謎掛け歌になっています。

⑯「南海に現れましたは諸葛孔明 八卦^{はつぱ}丹^{たん}を掲げて 飛来将を捕える (南海出了個諸葛亮 擺起八卦丹 口纏那個飛来将)」答えはクモ。

「八卦丹」は、仁丹のような漢方薬ですが、その包装に八卦図が描かれていたので、ここでは八卦図の意味で使われています。

最後に組謎を二つ挙げておきます。

⑰「洗いおばさん 織りおばさん 禿げナス ペたんこおばさん (洗洗娘 織織娘 光頭 落蘇 扁頭娘)」答えはささら、台拭き、鍋杓子、包丁。

ささらは中華鍋を洗います。農家の台所風景。

⑱「四人の王さまなあに 一番目の王さまする一りするり 二番目の王さまみんなで首吊り 三番目の王さま泥の中をにょろりにょろり 四番目の王さます一いすい (猜四個王 第一個王開来開去 第二個王吊死一塊去 第三個王調来調去麻泥裏 第四個王游来游去)」

王と黄は音が通じるので、答えは黄鼠狼 (イタチ) 黄瓜 (キュウリ) 黄鱧 (田ウナギ) 黄魚 (イシモチ) です。

イシモチは江南地方では、黄色い皇帝の色の魚として珍重されます。